

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ブラジル・ボンド・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・ボンド・マザーファンド	ブラジル・リアル建債券
マザーファンドの運用方法	①主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。 イ．金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ロ．固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。 ハ．投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。 ③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	毎月決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ブラジル・ボンド・オープン (毎月決算型／年2回決算型)

運用報告書（全体版）

毎月決算型	第72期（決算日 2014年11月25日）
	第73期（決算日 2014年12月25日）
	第74期（決算日 2015年1月26日）
	第75期（決算日 2015年2月25日）
	第76期（決算日 2015年3月25日）
年2回決算型	第77期（決算日 2015年4月27日）
	第13期（決算日 2015年4月27日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型／年2回決算型）」は、さる4月27日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3108>

<3109>

ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）

★ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）

■最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル（円換算）		公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	（分配落）	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	（参考指数）	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
48期末(2012年11月26日)	8,109	120	0.5	18,506	0.6	96.4	560,262
49期末(2012年12月25日)	8,311	120	4.0	19,262	4.1	96.7	591,106
50期末(2013年1月25日)	8,992	120	9.6	21,114	9.6	99.0	649,679
51期末(2013年2月25日)	9,398	120	5.8	22,465	6.4	98.1	680,406
52期末(2013年3月25日)	9,205	120	△ 0.8	22,255	△ 0.9	98.4	660,627
53期末(2013年4月25日)	9,616	120	5.8	23,719	6.6	97.8	685,142
54期末(2013年5月27日)	9,387	120	△ 1.1	23,452	△ 1.1	97.1	667,456
55期末(2013年6月25日)	8,021	120	△13.3	20,233	△13.7	96.4	577,152
56期末(2013年7月25日)	8,189	120	3.6	21,106	4.3	98.8	593,072
57期末(2013年8月26日)	7,481	120	△ 7.2	19,523	△ 7.5	98.7	547,001
58期末(2013年9月25日)	7,935	120	7.7	21,210	8.6	97.7	584,643
59期末(2013年10月25日)	7,697	120	△ 1.5	20,921	△ 1.4	98.2	570,077
60期末(2013年11月25日)	7,618	90	0.1	20,893	△ 0.1	97.9	570,352
61期末(2013年12月25日)	7,507	90	△ 0.3	20,855	△ 0.2	97.2	519,368
62期末(2014年1月27日)	7,167	90	△ 3.3	20,212	△ 3.1	98.6	488,042
63期末(2014年2月25日)	7,366	90	4.0	21,161	4.7	97.9	488,458
64期末(2014年3月25日)	7,302	90	0.4	21,268	0.5	98.5	464,229
65期末(2014年4月25日)	7,716	90	6.9	22,832	7.4	98.5	461,020
66期末(2014年5月26日)	7,703	90	1.0	23,037	0.9	98.0	441,276
67期末(2014年6月25日)	7,707	90	1.2	23,405	1.6	98.7	410,615
68期末(2014年7月25日)	7,739	90	1.6	23,765	1.5	98.6	388,287
69期末(2014年8月25日)	7,705	90	0.7	23,863	0.4	99.1	373,474
70期末(2014年9月25日)	7,683	90	0.9	23,984	0.5	99.4	354,013
71期末(2014年10月27日)	7,227	90	△ 4.8	22,893	△ 4.5	99.0	327,776
72期末(2014年11月25日)	7,662	90	7.3	24,534	7.2	98.7	338,693
73期末(2014年12月25日)	7,249	90	△ 4.2	23,513	△ 4.2	96.1	312,930
74期末(2015年1月26日)	7,459	90	4.1	24,719	5.1	98.5	318,165
75期末(2015年2月25日)	6,772	90	△ 8.0	22,515	△ 8.9	99.3	283,433
76期末(2015年3月25日)	6,089	90	△ 8.8	20,442	△ 9.2	99.1	248,659
77期末(2015年4月27日)	6,459	60	7.1	21,950	7.4	98.2	264,822

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

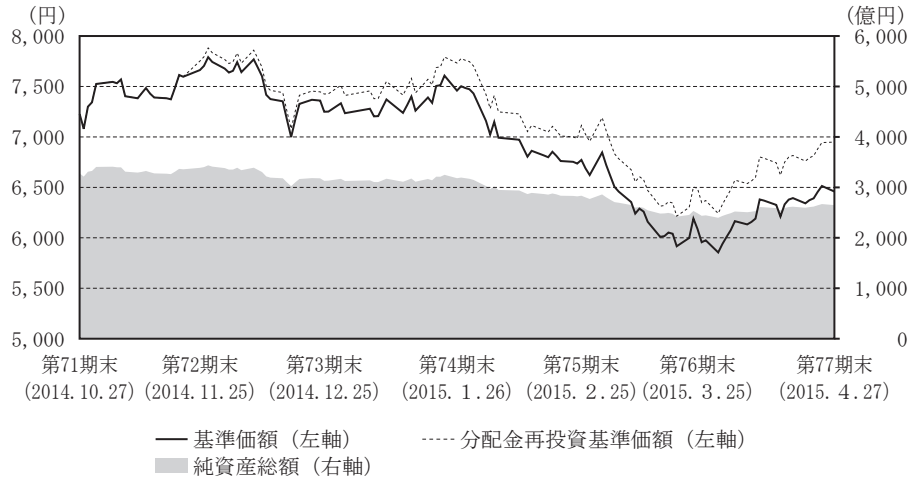
(注2) J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル（円換算）は、J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル（ブラジル・リアルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル（ブラジル・リアルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

■ 当作成期間（第72期～第77期）中の基準価額と市況の推移



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

	年 月 日	基 準 価 額		J P モルガン G B I - E M ブロード・ブラジル（円換算） （参考指数）		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
第72期	（期首）2014年10月27日	円 7,227	% —	22,893	% —	% 99.0
	10月末	7,525	4.1	23,816	4.0	99.1
	（期末）2014年11月25日	7,752	7.3	24,534	7.2	98.7
第73期	（期首）2014年11月25日	7,662	—	24,534	—	98.7
	11月末	7,743	1.1	24,827	1.2	99.0
	（期末）2014年12月25日	7,339	△4.2	23,513	△4.2	96.1
第74期	（期首）2014年12月25日	7,249	—	23,513	—	96.1
	12月末	7,235	△0.2	23,466	△0.2	96.0
	（期末）2015年1月26日	7,549	4.1	24,719	5.1	98.5
第75期	（期首）2015年1月26日	7,459	—	24,719	—	98.5
	1月末	7,431	△0.4	24,605	△0.5	98.6
	（期末）2015年2月25日	6,862	△8.0	22,515	△8.9	99.3
第76期	（期首）2015年2月25日	6,772	—	22,515	—	99.3
	2月末	6,622	△2.2	22,033	△2.1	99.3
	（期末）2015年3月25日	6,179	△8.8	20,442	△9.2	99.1
第77期	（期首）2015年3月25日	6,089	—	20,442	—	99.1
	3月末	5,939	△2.5	19,940	△2.5	98.7
	（期末）2015年4月27日	6,519	7.1	21,950	7.4	98.2

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第72期首：7,227円 第77期末：6,459円（既払分配金510円） 騰落率：△3.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・レアル建ての債券に投資した結果、債券価格や為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。しかし債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は上下に振れながら、当作成期間を通して上昇（債券価格は下落）しました。2014年10月の金融政策委員会（Copom）において、インフレ懸念から政策金利が上げられ、金融引締めサイクルは再開しました。その後も、インフレ圧力の抑制から継続的に追加利上げが実施されており、金利上昇要因となりました。当期間の前半は、ジョアキン・レビ氏を財務大臣とする新しい経済閣僚による健全な財政運営への期待感などで金利低下する局面もありましたが、原油価格やロシア株式市況の下落などによる投資センチメントの悪化から、他の新興国と同様に金利上昇となりました。当期間の後半は、新政権が発足し財政健全化への取り組みが市場から評価されたことなどから、金利低下する局面もありました。しかし、大手石油会社ペトロブラスの汚職問題や財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたこと、ブラジル国債の格下げ懸念、またブラジル・レアルの下落が追加的なインフレ懸念を強めかねないことなどが、金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円、対米ドルともに大きく下落しました。当期間の前半は、政策金利の引上げにより金利面からのサポートがありましたが、原油市況の下落を受け安全資産への逃避傾向が一時的に強まったことから、レアルは対米ドルで下落しました。2014年12月末にかけては、日銀の追加緩和や日本の衆議院選挙で自民党が勝利したことなどから円安が進行し、レアルは対円で横ばい推移となりました。当期間の後半は、ブラジル経済見通しの低迷等により投資センチメントが悪化したこと、ペトロブラス社の格下げや汚職捜査、政権に対するデモ等がレアルの悪材料となり、大きく下落しました。米国の好調なファンダメンタルズによる早期利上げ観測から米ドル高が進む中、レアル買いの為替介入プログラムが終了するとの見方が台頭したことや、財政健全化が政治的不透明感により遅れていることも重しとなりました。2015年4月にかけては、米国の早期利上げ観測が後退したほか、ペトロブラスが延期していた2014年第4四半期（10-12月）の決算発表を行なうとの期待から上昇しました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

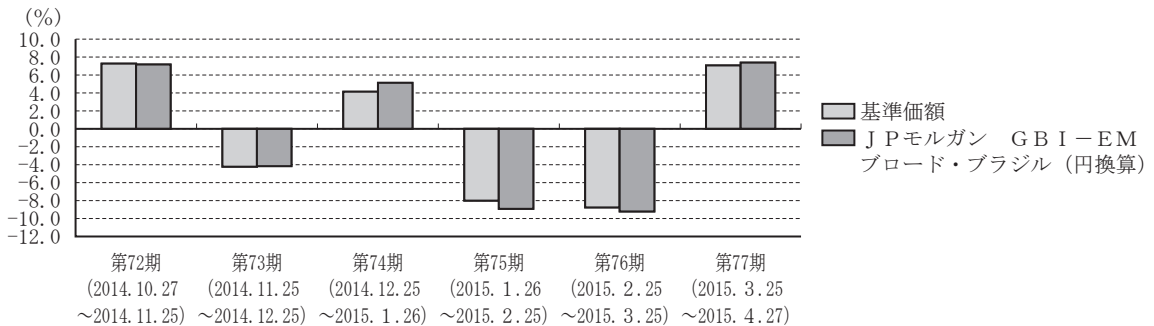
○ブラジル・ボンド・マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債に投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



◆分配金について

【収益分配金】

1 万口当り分配金（税込み）は、第72期～第76期はそれぞれ90円、第77期は60円といたしました。

■分配原資の内訳（1 万口当り）

項 目	第72期 2014年10月28日 ～2014年11月25日	第73期 2014年11月26日 ～2014年12月25日	第74期 2014年12月26日 ～2015年 1 月 26 日	第75期 2015年 1 月 27 日 ～2015年 2 月 25 日	第76期 2015年 2 月 26 日 ～2015年 3 月 25 日	第77期 2015年 3 月 26 日 ～2015年 4 月 27 日
当期分配金（税込み）（円）	90	90	90	90	90	60
対基準価額比率（％）	1.16	1.23	1.19	1.31	1.46	0.92
当期の収益（円）	53	45	57	44	39	54
当期の収益以外（円）	36	44	32	45	50	5
翌期繰越分配対象額（円）	359	315	283	239	189	185

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1 万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（1 万口当り）

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(a) 経費控除後の配当等収益	53.92円	45.46円	57.61円	44.90円	39.46円	54.18円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	358.72	359.60	316.08	284.22	240.40	191.08
(d) 分配準備積立金	36.67	0.58	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	449.32	405.65	373.70	329.13	279.86	245.27
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	359.32	315.65	283.70	239.13	189.86	185.27

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・マザーファンド

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組み入れて運用します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	第72期～第77期		項 目 の 概 要
	(2014. 10. 28～2015. 4. 27)		
	金 額	比 率	
信託報酬	50円	0. 716%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は6, 972円です。
（投信会社）	(21)	(0. 307)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0. 387)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 （保管費用）	6 (6)	0. 083 (0. 083)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	56	0. 799	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注3) 比率欄は1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年10月28日から2015年4月27日まで)

決 算 期	第 72 期 ～ 第 77 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ブラジル・ボンド・マザーファンド	977, 360	1, 768, 697	29, 905, 541	59, 001, 908

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況

当作成期間（第72期～第77期）中における利害関係人との取引はありません。

組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第 71 期 末	第 77 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ブラジル・ボンド・マザーファンド	170,025,627	141,097,446	267,224,453

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成

2015年 4月27日現在

項 目	第 77 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル・ボンド・マザーファンド	267,224,453	99.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 ・ そ の 他	1,403,833	0.5
投 資 信 託 財 産 総 額	268,628,287	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月27日における邦貨換算レートは、1 ブラジル・レアル＝40.28円です。
(注3) ブラジル・ボンド・マザーファンドにおいて、第77期末における外貨建純資産（268,178,298千円）の投資信託財産総額（269,261,260千円）に対する比率は、99.6%です。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年11月25日)、(2014年12月25日)、(2015年 1月26日)、(2015年 2月25日)、(2015年 3月25日)、(2015年 4月27日)現在

項 目	第 72 期 末	第 73 期 末	第 74 期 末	第 75 期 末	第 76 期 末	第 77 期 末
(A) 資 産	343,484,237,683円	318,088,526,214円	323,340,769,262円	288,398,895,915円	253,983,652,651円	268,628,287,077円
コール・ローン等	445,369,782	9,672,618,428	1,676,488,857	541,160,665	1,106,788,118	1,403,833,861
ブラジル・ボンド・マザーファンド(評価額)	343,038,867,901	308,415,907,786	321,429,280,405	287,457,735,250	252,876,864,533	267,224,453,216
未 収 入 金	—	—	235,000,000	400,000,000	—	—
(B) 負 債	4,790,842,020	5,158,168,177	5,174,839,642	4,965,434,623	5,324,390,698	3,805,818,790
未払収益分配金	3,978,418,017	3,885,212,831	3,839,062,230	3,767,109,301	3,675,443,324	2,459,919,876
未 払 解 約 金	429,311,169	883,116,843	935,305,834	844,969,104	1,356,953,777	1,011,678,966
未 払 信 託 報 酬	382,941,769	389,493,046	399,931,942	352,642,907	291,112,850	333,112,462
その他未払費用	171,065	345,457	539,636	713,311	880,747	1,107,486
(C) 純資産総額(A－B)	338,693,395,663	312,930,358,037	318,165,929,620	283,433,461,292	248,659,261,953	264,822,468,287
元 本	442,046,446,341	431,690,314,578	426,562,470,051	418,567,700,201	408,382,591,651	409,986,646,005
次期繰越損益金	△103,353,050,678	△118,759,956,541	△108,396,540,431	△135,134,238,909	△159,723,329,698	△145,164,177,718
(D) 受 益 権 総 口 数	442,046,446,341口	431,690,314,578口	426,562,470,051口	418,567,700,201口	408,382,591,651口	409,986,646,005口
1万口当り基準価額(C/D)	7,662円	7,249円	7,459円	6,772円	6,089円	6,459円

* 第71期末における元本額は453,528,234,703円、当作成期間（第72期～第77期）中における追加設定元本額は51,465,207,772円、同解約元本額は95,006,796,470円です。

* 第77期末の計算口数当りの純資産額は6,459円です。

* 第77期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は145,164,177,718円です。

■ 損益の状況

第72期
第73期
第74期

自2014年10月28日
自2014年11月26日
自2014年12月26日

至2014年11月25日
至2014年12月25日
至2015年 1 月26日

第75期
第76期
第77期

自2015年 1 月27日
自2015年 2 月26日
自2015年 3 月26日

至2015年 2 月25日
至2015年 3 月25日
至2015年 4 月27日

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(A) 配 当 等 収 益	29,445円	83,017円	231,216円	33,713円	55,934円	52,759円
受 取 利 息	29,445	83,017	231,216	33,713	55,934	52,759
(B) 有価証券売買損益	23,489,833,149	△ 13,407,449,845	13,162,870,258	△ 24,397,640,473	△ 23,319,566,626	17,817,808,073
売 買 益	23,846,596,817	243,366,198	13,255,420,425	491,856,593	1,108,367,195	18,012,599,005
売 買 損	△ 356,763,668	△ 13,650,816,043	△ 92,550,167	△ 24,889,497,066	△ 24,427,933,821	△ 194,790,932
(C) 信 託 報 酬 等	△ 383,112,834	△ 389,667,438	△ 400,126,121	△ 352,816,582	△ 291,280,286	△ 333,339,201
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	23,106,749,760	△ 13,797,034,266	12,762,975,353	△ 24,750,423,342	△ 23,610,790,978	17,484,521,631
(E) 前期繰越損益金	△ 53,289,863,602	△ 32,658,373,928	△ 47,422,431,160	△ 35,927,306,785	△ 59,119,320,635	△ 81,806,340,663
(F) 追加信託差損益金	△ 69,191,518,819	△ 68,419,335,516	△ 69,898,022,394	△ 70,689,399,481	△ 73,317,774,761	△ 78,382,438,810
(配当等相当額)	(15,857,268,776)	(15,523,590,337)	(13,483,132,875)	(11,896,867,650)	(9,817,601,794)	(7,834,198,918)
(売買損益相当額)	(△ 85,048,787,595)	(△ 83,942,925,853)	(△ 83,381,155,269)	(△ 82,586,267,131)	(△ 83,135,376,555)	(△ 86,216,637,728)
(G) 合計(D+E+F)	△ 99,374,632,661	△114,874,743,710	△104,557,478,201	△131,367,129,608	△156,047,886,374	△142,704,257,842
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,978,418,017	△ 3,885,212,831	△ 3,839,062,230	△ 3,767,109,301	△ 3,675,443,324	△ 2,459,919,876
次期繰越損益金(G+H)	△103,353,050,678	△118,759,956,541	△108,396,540,431	△135,134,238,909	△159,723,329,698	△145,164,177,718
追加信託差損益金	△ 69,191,518,819	△ 70,316,490,517	△ 71,279,373,161	△ 72,576,865,205	△ 75,381,471,372	△ 78,620,750,710
(配当等相当額)	(15,857,268,776)	(13,626,435,336)	(12,101,782,108)	(10,009,401,926)	(7,753,905,183)	(7,595,887,018)
(売買損益相当額)	(△ 85,048,787,595)	(△ 83,942,925,853)	(△ 83,381,155,269)	(△ 82,586,267,131)	(△ 83,135,376,555)	(△ 86,216,637,728)
分配準備積立金	26,519,599	—	—	—	—	—
繰 越 損 益 金	△ 34,188,051,458	△ 48,443,466,024	△ 37,117,167,270	△ 62,557,373,704	△ 84,341,858,326	△ 66,543,427,008

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,383,783,495円	1,962,705,133円	2,457,711,463円	1,879,643,577円	1,611,746,713円	2,221,607,976円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	15,857,268,776	15,523,590,337	13,483,132,875	11,896,867,650	9,817,601,794	7,834,198,918
(d) 分配準備積立金	1,621,154,121	25,352,697	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	19,862,206,392	17,511,648,167	15,940,844,338	13,776,511,227	11,429,348,507	10,055,806,894
(f) 分配金	3,978,418,017	3,885,212,831	3,839,062,230	3,767,109,301	3,675,443,324	2,459,919,876
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	15,883,788,375	13,626,435,336	12,101,782,108	10,009,401,926	7,753,905,183	7,595,887,018
(h) 受益権総口数	442,046,446,341口	431,690,314,578口	426,562,470,051口	418,567,700,201口	408,382,591,651口	409,986,646,005口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 72 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期
1 万 口 当 り 分 配 金	90円	90円	90円	90円	90円	60円
(単 価)	(7,662円)	(7,249円)	(7,459円)	(6,772円)	(6,089円)	(6,459円)

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

★ブラジル・ボンド・オープン（年2回決算型）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率		
	円	円	%		%	%	百万円
9 期末 (2013年 4 月 25 日)	18,868	10	27.5	23,719	29.0	97.7	3,142
10 期末 (2013年 10 月 25 日)	16,492	10	△ 12.5	20,921	△ 11.8	97.6	2,567
11 期末 (2014年 4 月 25 日)	17,764	10	7.8	22,832	9.1	97.9	2,400
12 期末 (2014年 10 月 27 日)	17,834	10	0.5	22,893	0.3	98.3	2,044
13 期末 (2015年 4 月 27 日)	17,137	10	△ 3.9	21,950	△ 4.1	97.9	1,908

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

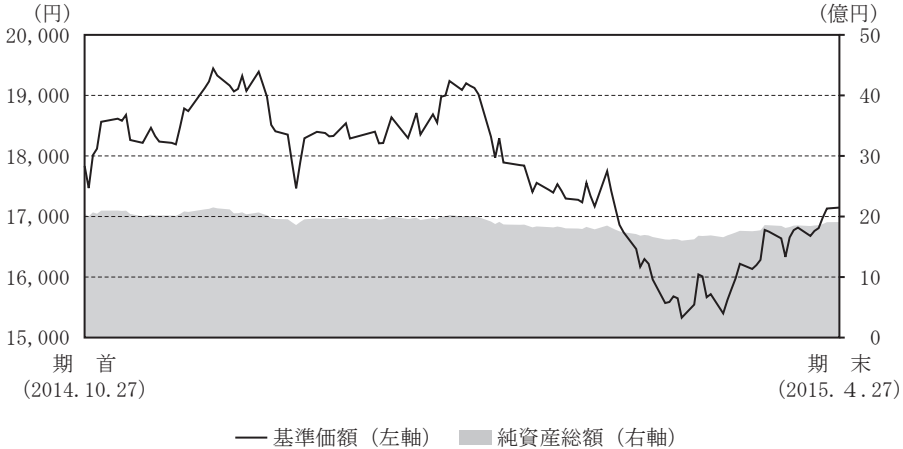
(注2) J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン G B I－E M ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

■当期中の基準価額と市況の推移



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

年 月 日	基 準 価 額	J Pモルガン G B I - E M ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率 (参考指数)	騰 落 率	
	円	%		%
(期首) 2014年10月27日	17,834	—	22,893	98.3
10月末	18,565	4.1	23,816	99.0
11月末	19,328	8.4	24,827	99.0
12月末	18,288	2.5	23,466	97.8
2015年 1 月末	19,019	6.6	24,605	98.9
2 月末	17,167	△ 3.7	22,033	99.9
3 月末	15,620	△12.4	19,940	99.3
(期末) 2015年 4 月27日	17,147	△ 3.9	21,950	97.9

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,834円 期末：17,137円（分配金10円） 騰落率：△3.9％（分配金込み）

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格や為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。しかし債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市場

ブラジル債券金利は上下に振れながら、期を通して上昇（債券価格は下落）しました。2014年10月の金融政策委員会（Copom）において、インフレ懸念から政策金利が上げられ、金融引締めサイクルは再開しました。その後も、インフレ圧力の抑制から継続的に追加利上げが実施されており、金利上昇要因となりました。期の前半は、ジョアキン・レビ氏を財務大臣とする新しい経済閣僚による健全な財政運営への期待感などで金利低下する局面もありましたが、原油価格やロシア株式市況の下落などによる投資センチメントの悪化から、他の新興国と同様に金利上昇となりました。期の後半は、新政権が発足し財政健全化への取り組みが市場から評価されたことなどから、金利低下する局面もありました。しかし、大手石油会社ペトロブラスの汚職問題や財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたこと、ブラジル国債の格下げ懸念、またレアルの下落が追加的なインフレ懸念を強めかねないことなどが、金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・リアルは対円、対米ドルともに大きく下落しました。期の前半は、政策金利の引上げにより金利面からのサポートがありましたが、原油市況の下落を受け安全資産への逃避傾向が一時的に強まったことから、レアルは対米ドルで下落しました。2014年12月末にかけては、日銀の追加緩和や日本の衆議院選挙で自民党が勝利したことなどから円安が進行し、レアルは対円で横ばい推移となりました。期の後半は、ブラジル経済見通しの低迷等により投資センチメントが悪化したこと、ペトロブラス社の格下げや汚職捜査、政権に対するデモ等がレアルの悪材料となり、大きく下落しました。米国の好調なファンダメンタルズによる早期利上げ観測から米ドル高が進む中、レアル買いの為替介入プログラムが終了するとの見方が台頭したことや、財政健全化が政治的不透明感により遅れていることも重しとなりました。2015年4月に

ブラジル・ボンド・オープン（年2回決算型）

かけては、米国の早期利上げ観測が後退したほか、ペトロプラスが延期していた2014年第4四半期（10－12月）の決算発表を行なうとの期待から上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

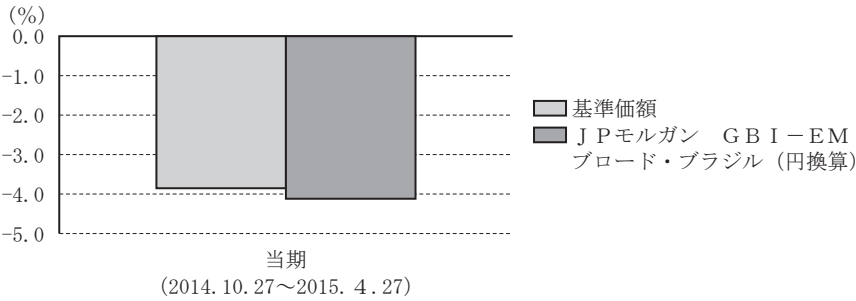
○ブラジル・ボンド・マザーファンド

債券ポートフォリオは、名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）と物価連動債の双方からなるブラジル国債に投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



◆分配金について

【収益分配金】

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2014年10月28日	～2015年4月27日
当期分配金（税込み）(円)		10
対基準価額比率 (%)		0.06
当期の収益(円)		10
当期の収益以外(円)		—
翌期繰越分配対象額(円)		11,812

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	679.78円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	6,632.70
(d) 分配準備積立金	4,509.93
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	11,822.41
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	11,812.41

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ブラジル・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ブラジル・ボンド・マザーファンド

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組入れて運用します。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2014. 10. 28～2015. 4. 27)		
	金 額	比 率	
信託報酬	127円	0.720%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は17,688円です。
（投信会社）	(54)	(0.305)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(70)	(0.394)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(4)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	16	0.090	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(15)	(0.086)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	143	0.810	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年10月28日から2015年4月27日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ブラジル・ボンド・マザーファンド	117,440	216,530	157,100	314,936

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ブラジル・ボンド・マザーファンド	1,054,220	1,014,560	1,921,476

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル・ボンド・マザーファンド	1,921,476	99.5
コール・ローン等、その他	10,284	0.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,931,760	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月27日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル＝40.28円です。

(注3) ブラジル・ボンド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(268,178,298千円)の投資信託財産総額(269,261,260千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年4月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,931,760,987円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,284,735
ブラジル・ボンド・マザーファンド(評価額)	1,921,476,252
(B) 負 債	23,080,246
未 払 収 益 分 配 金	1,113,777
未 払 解 約 金	8,146,438
未 払 信 託 報 酬	13,743,202
そ の 他 未 払 費 用	76,829
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	1,908,680,741
元 本	1,113,777,643
次 期 繰 越 損 益 金	794,903,098
(D) 受 益 権 総 口 数	1,113,777,643口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C／D)	17,137円

* 期首における元本額は1,146,543,979円、当期中における追加設定元本額は217,010,844円、同解約元本額は249,777,180円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は17,137円です。

■損益の状況

当期 自2014年10月28日 至2015年4月27日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,179円
受 取 利 息	1,179
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 45,776,701
売 買 損 益	20,212,504
売 買 損 益	△ 65,989,205
(C) 信 託 報 酬 等	△ 13,820,031
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	△ 59,595,553
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	265,543,288
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	590,069,140
(配 当 等 相 当 額)	(738,735,383)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△148,666,243)
(G) 合 計(D＋E＋F)	796,016,875
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,113,777
次 期 繰 越 損 益 金(G＋H)	794,903,098
追 加 信 託 差 損 益 金	590,069,140
(配 当 等 相 当 額)	(738,735,383)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△148,666,243)
分 配 準 備 積 立 金	576,905,286
繰 越 損 益 金	△372,071,328

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	75,712,612円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	738,735,383
(d) 分配準備積立金	502,306,451
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	1,316,754,446
(f) 分配金	1,113,777
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	1,315,640,669
(h) 受益権総口数	1,113,777,643口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- ＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、4月27日現在の基準価額（1万口当り17,137円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

ブラジル・ボンド・マザーファンド

運用報告書 第13期（決算日 2015年4月27日）

（計算期間 2014年10月28日～2015年4月27日）

ブラジル・ボンド・マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	ブラジル・レアル建債券
運 用 方 法	①主として、ブラジル・レアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。 イ．金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ロ．固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。 ハ．投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。 ③外貨建資産の運用にあたっては、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

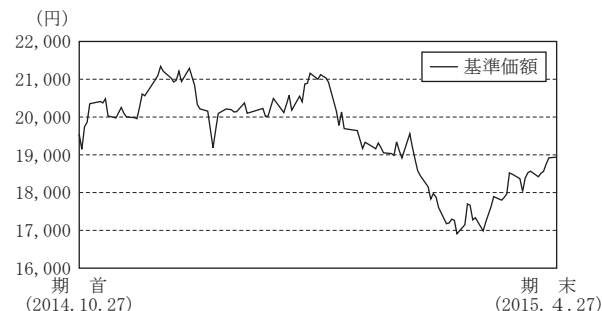
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算)		公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率 (参考指数)	円	騰 落 率 (参考指数)	
(期首) 2014年10月27日	19,545	—	22,893	—	97.6
10月末	20,352	4.1	23,816	4.0	99.1
11月末	21,212	8.5	24,827	8.4	99.0
12月末	20,099	2.8	23,466	2.5	97.5
2015年1月末	20,926	7.1	24,605	7.5	98.6
2月末	18,916	△ 3.2	22,033	△ 3.8	99.5
3月末	17,232	△ 11.8	19,940	△ 12.9	98.9
(期末) 2015年4月27日	18,939	△ 3.1	21,950	△ 4.1	97.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) は、JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・レアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・レアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,545円 期末：18,939円 騰落率：△3.1%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・レアル建ての債券に投資した結果、債券価格や為替相場が下落したことが要因となり、基準価額は値下がりしました。しかし債券の利息収入は安定的に基準価額の値上がり要因となりました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は上下に振れながら、期を通して上昇 (債券価格は下落) しました。2014年10月の金融政策委員会 (Copom) において、インフレ懸念から政策金利が引上げられ、金融引締めサイクルは再開しました。その後も、インフレ圧力の抑制から継続的に追加利上げが実施されており、金利上昇要因となりました。期の前半は、ジョアキン・レビ氏を財務大臣とする新しい経済閣僚による健

全な財政運営への期待感などで金利低下する局面もありましたが、原油価格やロシア株式市況の下落などによる投資センチメントの悪化から、他の新興国と同様に金利上昇となりました。期の後半は、新政権が発足し財政健全化への取り組みが市場から評価されたことなどから、金利低下する局面もありました。しかし、大手石油会社ペトロブラスの汚職問題や財政再建法案が議会の反発を受け法案の成立が難航すると懸念されたこと、ブラジル国債の格下げ懸念、またレアルの下落が追加的なインフレ懸念を強めかねないことなどが、金利上昇要因となりました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円、対米ドルともに大きく下落しました。期の前半は、政策金利の引上げにより金利面からのサポートがありましたが、原油市況の下落を受け安全資産への逃避傾向が一時的に強まったことから、レアルは対米ドルは下落しました。2014年12月末にかけては、日銀の追加緩和や日本の衆議院選挙で自民党が勝利したことなどから円安が進行し、レアルは対円で横ばい推移となりました。期の後半は、ブラジル経済見通しの低迷等により投資センチメントが悪化したこと、ペトロブラス社の格下げや汚職捜査、政権に対するデモ等がレアルの悪材料となり、大きく下落しました。米国の好調なファンダメンタルズによる早期利上げ観測から米ドル高が進む中、レアル買いの為替介入プログラムが終了するとの見方が台頭したことや、財政健全化が政治的不透明感により遅れていることも重しとなりました。2015年4月にかけては、米国の早期利上げ観測が後退したほか、ペトロブラスが延期していた2014年第4四半期 (10-12月) の決算発表を行なうとの期待から上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

ブラジルのファンダメンタルズ見通しや金融政策見通し等を考慮し、ブラジル国債を中心に組入れることで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、名目債 (一般に割引債と利付債をいいます。) と物価連動債の双方からなるブラジル国債に投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。参考指数はブラジル債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した魅力的な投資対象です。財政再建への取り組みは中長期的にブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、種別構成にも柔軟に調整しつつ、引き続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組入れて運用します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	16 (16)
合 計	16

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって
受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項
目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概
要をご参照ください。
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2014年10月28日から2015年 4 月27日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブ ラ ジ ル	国 債 証 券	千ブラジル・レアル 4,651,782	千ブラジル・レアル 5,870,984 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2014年10月28日から2015年 4 月27日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2016/8/15	65,610,022	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/1/1	84,413,072
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2016/1/1	51,916,730	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2018/1/1	72,834,703
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2025/1/1	34,261,847	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/4/1	22,685,384
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/4/1	23,739,879	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2018/8/15	19,456,757
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/7/1	17,154,285	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル)	10% 2025/1/1	16,489,326
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2018/8/15	8,236,839	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル)	2015/7/1	10,338,699
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2030/8/15	2,862,055	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2030/8/15	8,098,302
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2055/5/15	2,631,122	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2024/8/15	7,315,242
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2022/8/15	6,376,538
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B (ブラジル)	6% 2023/5/15	4,181,719

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		末 期				
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ブ ラ ジ ル	千ブラジル・レアル 5,549,000	千ブラジル・レアル 6,502,250	千円 261,910,641	% 97.3	% —	% 20.1	% 6.0	% 71.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	末 期		償 還 年 月 日
						評 価 額	外 貨 建 金 額	
ブラジル				%	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	22,000	56,806	2,288,162	2017/05/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	20,000	51,190	2,061,965	2024/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	15,000	38,554	1,552,957	2020/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	610,000	1,575,971	63,480,136	2016/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	50,000	129,357	5,210,520	2030/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	45,000	116,598	4,696,573	2040/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	50,000	129,158	5,202,484	2045/05/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	30,000	77,457	3,120,004	2035/05/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	6,000	15,537	625,844	2050/08/15	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	57,000	146,282	5,892,259	2018/08/15	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	—	2,642,000	2,420,256	97,487,949	2016/01/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	—	676,000	581,670	23,429,706	2016/07/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	—	35,000	28,315	1,140,528	2017/01/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	—	150,000	146,694	5,908,834	2015/07/01	
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国 債 証 券	10.0000	835,000	720,237	29,011,170	2025/01/01	
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国 債 証 券	—	280,000	201,154	8,102,515	2018/01/01	
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie B	国 債 証 券	6.0000	26,000	67,006	2,699,029	2055/05/15		
合 計	銘 柄 数 額	17銘柄			5,549,000	6,502,250	261,910,641	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年 4 月27日現在

項 目	当 期		末 期
	評 価 額	比 率	
公 社 債	千円 261,910,641	% 97.3	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,350,618	2.7	
投 資 信 託 財 産 総 額	269,261,260	100.0	

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月27日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル＝40.28円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（268,178,298千円）の投資信託財産総額（269,261,260千円）に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年 4 月27日現在

項	目	当 期 末
(A) 資 産		272,842,439,772円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等		1,347,821,272
公 社 債(評価額)		261,910,641,278
未 収 入 金		7,045,485,141
未 収 利 息		2,052,061,423
前 払 費 用		486,430,658
(B) 負 債		3,625,200,000
未 払 金		3,625,200,000
(C) 純 資 産 総 額(A－B)		269,217,239,772
元 本		142,149,213,319
次 期 繰 越 損 益 金		127,068,026,453
(D) 受 益 権 総 口 数		142,149,213,319口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C／D)		18,939円

* 期首における元本額は171,101,701,119円、当期中における追加設定元本額は1,115,609,905円、同解約元本額は30,068,097,705円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）141,097,446,125円、ブラジル・ボンド・オープン（年2回決算型）1,014,560,564円、ブラジル・ボンド・オープン（年1回決算型）37,206,630円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は18,939円です。

■損益の状況

当期 自2014年10月28日 至2015年 4 月27日

項	目	当 期
(A) 配 当 等 収 益		13,092,037,876円
受 取 利 息		13,091,576,409
そ の 他 収 益 金		461,467
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△	20,730,095,262
売 買 益		5,092,070,608
売 買 損	△	25,822,165,870
(C) そ の 他 費 用	△	250,611,401
(D) 当 期 損 益 金(A＋B＋C)	△	7,888,668,787
(E) 前 期 繰 越 損 益 金		163,308,036,440
(F) 解 約 差 損 益 金	△	29,259,756,295
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金		908,415,095
(H) 合 計(D＋E＋F＋G)		127,068,026,453
次 期 繰 越 損 益 金(H)		127,068,026,453

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月 1 日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・ 書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・ 投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・ 書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。